



日月舎三周年記念 桃源郷 臨時増刊

ともえ・えがら^{1集}

THE HIGH
愛の叙事詩

SUN ☆ MOON 別冊

オリジナル“SUN&MOON”復刊・予告準備号



閲覧も愉悦な
回想と気鋭の
好尚写真録
企画 世田介一 編集

エドプロ
発行

ともえ・えがら



日月舎秘蔵記録①

◆季刊◆



日月舎 三周年を記念する

紆余曲折の辿り

世田介一

「ともえ・えがら」に、お目を止めていただきましたこと、幸甚に存じます。

巴絵柄とは、男と女の「いき事」を想定した言葉ですが、ここに収録致しました写真は「SUN & MOON」誌で特別取材して発表しました「斯界記録」の一部に過ぎません。編者にはそれぞれ汲めどもつきせぬ思い出があり、「日月舎 三周年」と強調するいわれと共に説明致したいとも考えるのですが、後日に譲ってここでは改めて「SUN & MOON」の復刊の機が到来したことをお知らせ申し上げることにとどめさせていただきます。ご存知かと思いますが、「SUN & MOON」誌は六号まで同一標記の誌名で続き、その七号に該当する刊行物から「月刊」をうたい「サン・アンド・ムーン」となりました。その「サン・アンド・ムーン」の二号目で「異変」が起つたのです。

「異変」は、編集人の交代劇を演出したばかりではなく、「太陽と月のように」と創刊の序で述べた主旨からも外れる「換骨奪胎」に転じたのでした。

その「演出者」の罪業は根深いものがあります。

当時「寝耳に水」で、意見の場さえ失った私は理不尽な沈黙を余儀なくされ、その後、支援を約束してくれた気鋭の士と「スペシャリーS & M」を創刊して「有終の美」を飾る礼ともならなかった分の補足と正当不動の意を、それまでのご支援各位にお伝えして参ることに努めたのです。

「変収興起」といい、「収声載文」といい、私が「よき協力者の出現」を喜び、斯界感興の話題発掘をおし進めると、そこをツケ目のように予期外の事変が舞い上がるようで、「スペシャリーS & M」誌の七号では、特に告示の場を設けて「辞儀の弁」を記し、総撤収したのでした。それを人は挫折とも個人的感情の無分別とさえ思われるようですが、「日月舎」の主旨からは「せざるを得ない」挙動なのです。

やがて近日、各位にはその主旨貫徹に沿った「SUN & MOON」誌の復刊号をお届け致します。

かつて「夢想」の企画物を現実の物へと変えてくださった方の許で……いわば「古巣」に帰つての仕事となりますが、信義だけは守り続けたいとの一致は歪めたくも侵されたくもありません。

ともえ・えがら

目 次

日月舎 三周年を記念する

紆余曲折の辿り

世田介一

1

御 挨 拶

林 宗宏

2

SUN&MOON表紙作りの特写

3

好 事 三 昧

カメラ

六本木薫

5

“灼熱の間”に

熱風が渦巻いた!!

カメラ

荒川也寸志

12

代理妻みさ子

カメラ

世田介一

18

調教志願〔北島タエ子〕

カメラ

世田介一

23

特撮カラーグラフ

稟性自覚の惑溺希求

カメラ

高松興成

33

S 氏夫人

カメラ

世田介一

65

ペット・ミコ

カメラ

世田介一

72

歌麿に惹かれて

カメラ

世田介一

78

カラー・マイ・アルバム

実践・私秘帖

カメラ

大貫浩治

97

孕 妊 美 縛寵愉悅

カメラ

中宮 榮

129

洛中の妖花 渡部好美

カメラ

世田介一

150

潜行耽美家浮上

カメラ

志摩紫光

168

愉芽写録作り

カメラ

荒川也寸志

176

編集後記・ご案内

巻末

構 成 世田介一

表紙カラー 安永 勲

特撮グラフ

稟性自覚の惑溺希求

——信愛の人のためなら——



日月舎新星紹介

カメラ 高松 興成



「SM (スクウィレル・メイト)」誌創刊号を御覧いただいたでしょうか……
誌上でのリスなかま紹介に彼女のプロフィールを記載してあります。



















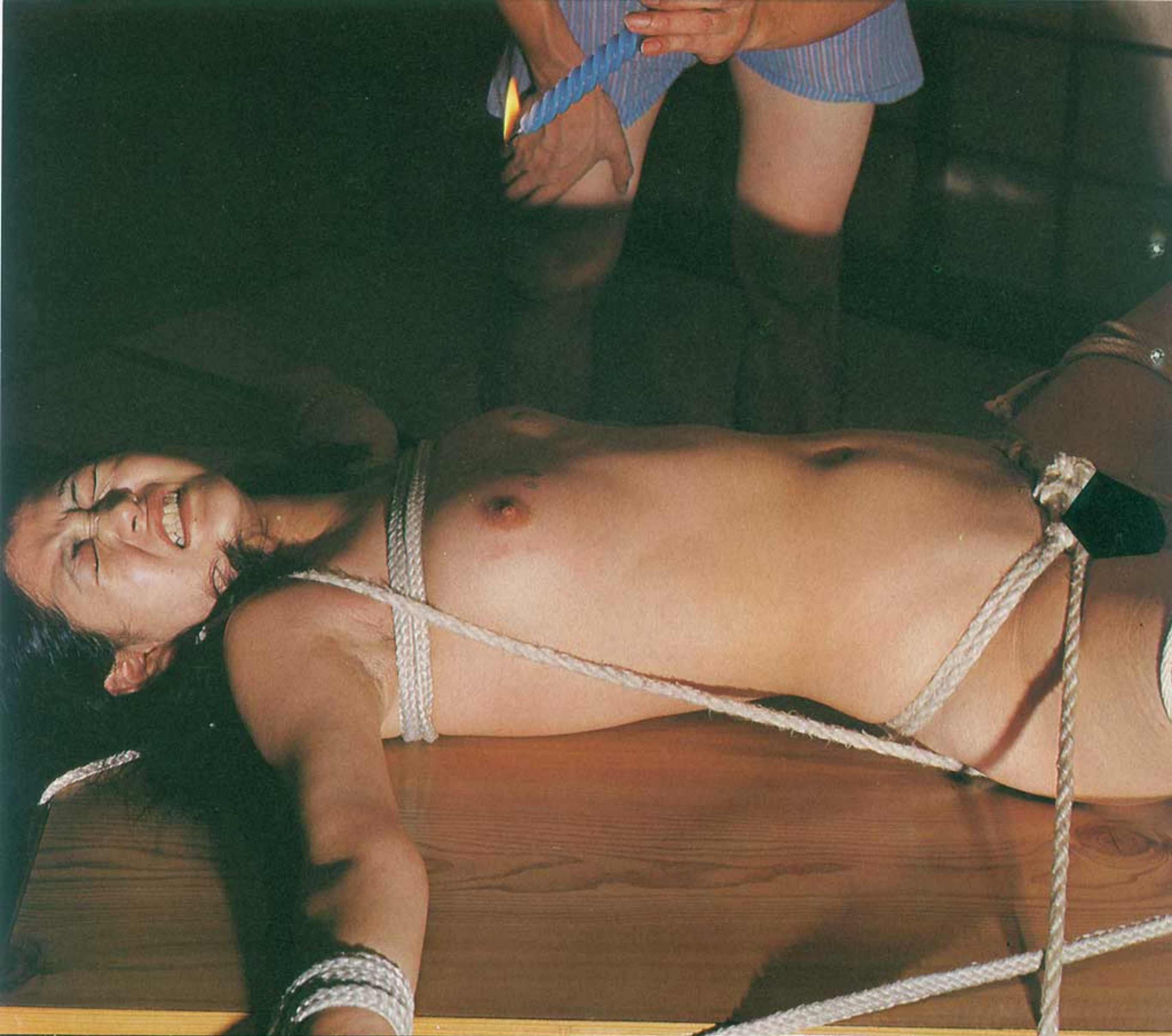










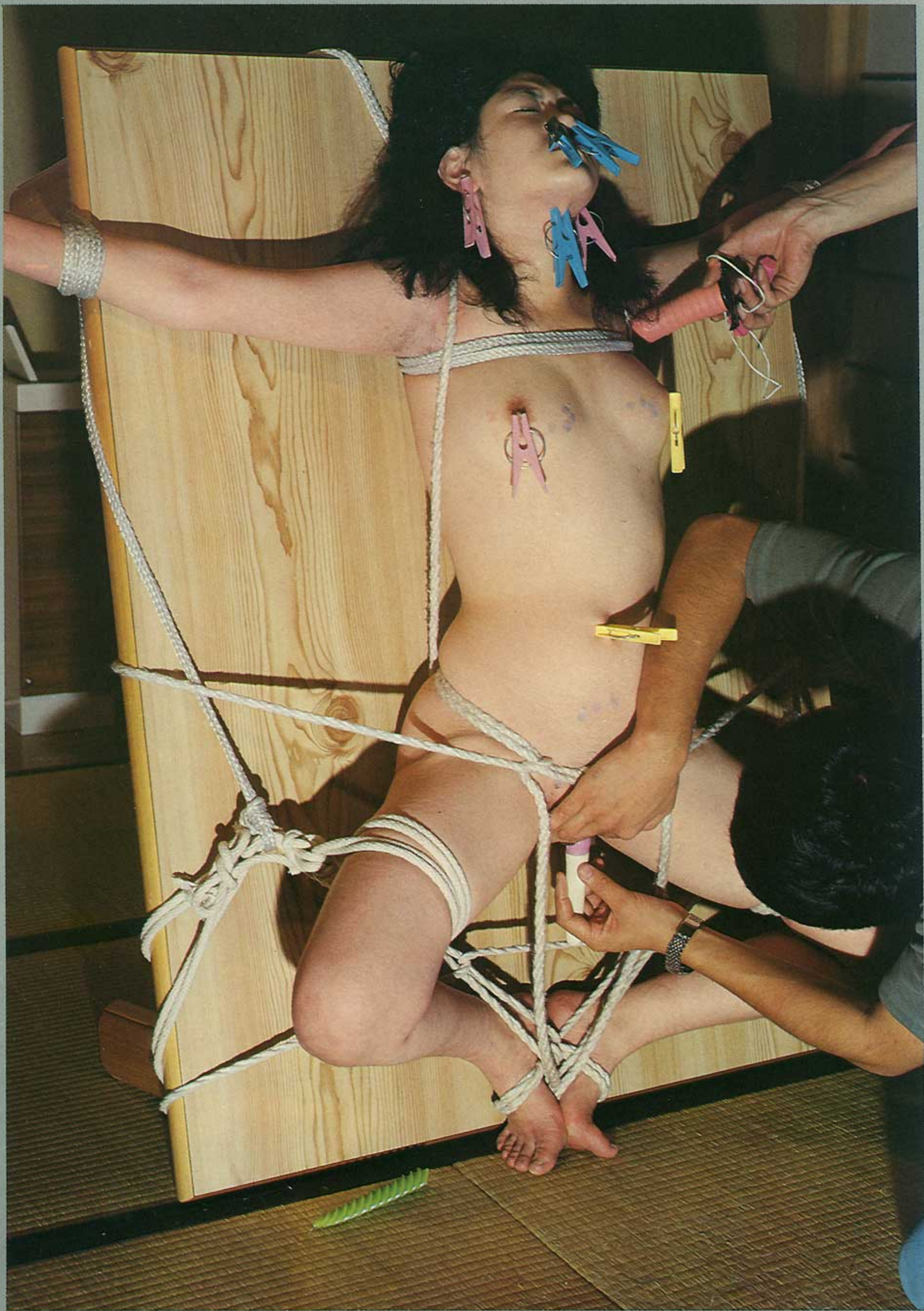






























彼女は「日月舎」を棲みよい「巢」と思ってくれたようです。
姉妹誌「スクウィレルメイト」二号での魅力をおたのしみに。



ロマン①

潜行耽美家浮上



SUN & MOON'S EPISODE



ロマン⑤



ロマン④













* 実践・耽美家のエッセンス満々！

THE IKI-IKI

写録報 異喜・域

送料込み頒価 ¥1,700



新誌の
イメージ

限定1,000部

スクラップ、ルポライターと撮影者がペアを
組み、競いあいながら「特集」する新形式風俗誌



日月舎

企画・編集発行

本誌は市販致しません
直接お申し込み下さい

発行所 日月舎

〒176 東京都練馬区春日町6-6

メイ巧房内 いきいき制作室